

JENESYS 2.0

ASEAN 経済共同体 (AEC) ユースネットワーク 第1陣 (大学生)

1. プログラム概要

本事業は「JENESYS2.0」の一環として、クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力、日本人の価値観への理解を促進するとともに、将来の ASEAN 経済共同体 (以下、AEC) ※の活動に貢献できる若手中核人材の育成を目指して、ASEAN9 カ国より大学生訪日団計 78 名が来日し、3 月 31 日から 4 月 7 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを行いました。

(団長 : Nudjeree Sompong 氏 (Ms.) : Senior Trade Officer, Bureau of ASEAN Affairs, Department of Trade Negotiations, Ministry of Commerce of Thailand)

※ASEAN 経済共同体 (ASEAN Economic Community : AEC) . . .

2015 年 12 月 31 日を目標に始動させる予定の ASEAN 共同体設立に向けた 3 本の柱のひとつ

(ASEAN Politico-Security Community, ASEAN Economic Community, ASEAN Socio-Cultural Community)

2. 参加国・人数

ASEAN9 カ国 (シンガポール除く) 計 78 名 :

インドネシア (9 名), カンボジア (9 名), タイ (10 名※団長 1 名含む),
フィリピン (9 名), ブルネイ (9 名), ベトナム (8 名), マレーシア (9 名),
ミャンマー (6 名), ラオス (9 名) ※以下 50 音順

3. 訪問地

東京都 (全員), 愛知県 (28 名), 大阪府・奈良県 (26 名), 福岡県 (24 名)

4. 目的

- 1) クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力、日本人の価値観への理解を促進する。
- 2) ASEAN 諸国の大学生の ASEAN 共同体と AEC に対する意識啓発を促進すると同時に、日本の同世代も ASEAN 諸国と AEC への理解を深める。
- 3) 日本の経済活性化に向けた様々な取り組みを特に地方で学ぶことで、今後の ASEAN 地域経済活性化を考える手立てとする。
- 4) ASEAN 地域と日本の若手人材を繋ぎ、相互の経済発展に寄与するためのハブ機能を持つ ASEAN ユースネットワークを構築する。そのために、ASEAN からの派遣団と日本の受け入れ側との積極的な対話を促進する。

5. 日程

3月31日（日）

成田国際空港より入国，来日オリエンテーション

4月1日（月）

首相官邸表敬訪問（安倍総理面会）・外務省表敬訪問（河上アジア青少年交流室長面会），東京都内見学（浅草・秋葉原），ワークショップⅠ

4月2日（火）～4月5日（金）

3つのグループに分かれ，Aグループは愛知県，Bグループは奈良県及び京都府，Cグループは福岡県へ移動。Aグループは経済・社会科学，Bグループは芸術・創造芸術・文化，Cグループは科学・技術について学習。

Aグループ（経済・社会科学）

名古屋市役所表敬訪問・市民経済局講義，トヨタ産業技術記念館視察，名古屋大学訪問（日本人学生との交流），名古屋港視察，アツタ起業株式会社訪問・講義（非鉄金属製造業），地域の方々との交流会（あすて会員），百年草「ベーカリーバーバラはうす」訪問・講義（介護デイサービス施設を兼ね備えた福祉と観光の融合施設），三洲足助屋敷訪問（日本文化体験），ワークショップⅡ

Bグループ（芸術・創造芸術・文化）

奈良市庁表敬訪問（仲川市長面会）・観光戦略課講義，ならまち散策，東大寺・春日大社訪問，箱本館「紺屋」訪問（藍染体験），奈良茶業振興センター訪問・講義，ホームビジット，大和ハウス工業株式会社訪問・講義，同志社大学訪問（日本人学生との交流），ワークショップⅡ

Cグループ（科学・技術）

北九州産業学術推進機構（FAIS）訪問・講義，大濠公園能楽堂訪問（能体験等），福岡県庁表敬訪問・講義，トヨタ自動車九州株式会社宮田工場視察，株式会社ネクストシステム訪問・講義（IT企業），ホームビジット，おおき循環センター視察，福岡工業大学訪問（日本人学生との交流），ワークショップⅡ

4月6日（土）

東京へ移動，ワークショップⅢ，報告会（訪日成果・帰国後行動計画発表）

4月7日（日）

成田国際空港より出国

6. 写真

6-1. 都内共通

	
<p>3/31 来日オリエンテーション（東京）</p>	<p>3/31 来日オリエンテーション（東京）</p>
<p>Arrival Orientation (Tokyo)</p>	<p>Arrival Orientation (Tokyo)</p>
	
<p>4/1 総理官邸訪問（東京）</p>	<p>4/1 総理官邸訪問（東京）</p>
<p>Courtesy Call (Tokyo) : Prime Minister' s official residence</p>	<p>Courtesy Call (Tokyo) : Prime Minister' s official residence</p>
	
<p>4/1 外務省表敬訪問（東京）</p>	<p>4/1 浅草訪問（東京）</p>
<p>Courtesy Call (Tokyo) : Ministry of Foreign Affairs of Japan</p>	<p>Visit to Senso-ji (Tokyo)</p>

	
<p>4/1 ワークショップⅠ（東京） Workshop I (Tokyo)</p>	<p>4/6 ワークショップⅢ（東京） Workshop III (Tokyo)</p>
	
<p>4/6 報告会（帰国後行動計画発表）（東京）</p>	<p>4/6 報告会（帰国後行動計画発表）（東京） 修了証授与</p>
<p>Action Plan Presentation (Tokyo)</p>	<p>Certificate of Action Plan Presentation (Tokyo)</p>

6-2. 中部地方（Aグループ【テーマ：経済・社会科学】）

	
<p>4/2 地方自治体概要講義（名古屋市役所市民経済局）</p>	<p>4/3 大手企業視察（トヨタ産業技術記念館）</p>
<p>Lecture "Outline & tasks of Local Government (Nagoya City Hall)</p>	<p>Visit of Major Company: Toyota Memorial Museum of Industry and Technology</p>
	
<p>4/3 学校交流（名古屋大学法学部留学生支援サークル SOLV 交流会）①</p>	<p>4/3 学校交流（名古屋大学法学部留学生支援サークル SOLV 交流会）②</p>
<p>University Visit : Nagoya University (School of Law Volunteers) ①</p>	<p>University Visit : Nagoya University (School of Law Volunteers) ②</p>
	
<p>4/4 地元自治体施設視察（名古屋港）</p>	<p>4/4 地元企業訪問・意見交換（アツタ起業株式会社[非鉄金属製造業]）</p>
<p>Visit of the Nagoya Port Owned by Nagoya Local Government</p>	<p>Visit of a local leading company : ATSUTA KIGYO CO., LTD.</p>

	
<p>4/4 地域交流会 (あすて会員)</p>	<p>4/5 地元起業訪問・意見交換 (百年草「ベーカリーバーバラハウス」) ①</p>
<p>Exchange Program :Toyota International Association/Volunteer Group 'ASUTE'</p>	<p>Local Entrepreneur・Exchange Opinions (HYAKUNENSOU' Bakery Barbara House) ①</p>
	
<p>4/5 地元起業訪問・意見交換 (百年草「ベーカリーバーバラハウス」) ②</p>	<p>4/ 5 伝統文化体験 (三洲足助屋敷)</p>
<p>Local Entrepreneur・Exchange Opinions (HYAKUNENSOU' Bakery Barbara House) ②</p>	<p>Historical and Cultural Experience (Sanshu Asuke Yashiki)</p>
	
<p>4/5 ワークショップⅡ①</p>	<p>4/ 5 ワークショップⅡ②</p>
<p>Workshop II ①</p>	<p>Workshop II ②</p>

6-3. 関西地方（Bグループ【テーマ：芸術・創造芸術】）

	
<p>4/2 奈良市庁 表敬訪問：仲川市長と共に Courtesy Call to the Mayor of Nara City : Nara City Government Office</p>	<p>4/2 奈良市役所観光経済部・観光戦略課講義 Lecture by the Tourism Strategy Div.</p>
	
<p>4/2 昔の面影を残すならまち散策：元興寺 Visit to Local Town : Gango temple</p>	<p>4/2 奈良の工芸品について学ぶ：なら工芸館 Nara Craft Museum</p>
	
<p>4/3 歴史的建造物：東大寺 Historical Building : Todai Temple</p>	<p>4/3 藍染体験：箱本館「紺屋」 Cultural Experience at Hakomotokan-Konya</p>



4/3 私達がつくった藍染ハンカチです！

Dyeing a Handkerchief



4/4 地元産業について学ぶ：茶業振興センター

Nara Tea Production Promotion Center



4/4 県防災航空隊員によるお話：奈良県ヘリポートにて

Lecture by Nara Disaster Relief Aviation Corps



4/4 奈良市指定文化財・松本家にて

Old Traditional Houses in Nara City



4/4 ホームビジット対面式
国際交流ならふれあいの会の皆さまと共に

Meeting with Host Family



4/4 ホームビジット：岡井麻布商店にて

Home Visit: Weaving Experience



4/4 ホームビジット：原木しいたけ園宮中家にて
Home Visit: Shiitake Mushroom Farm



4/5 大手企業視察：大和ハウス工業にて
Visit to Major Company :
Daiwa Housing Co., Ltd.



4/5 大学交流：キャンパスツアー・同志社大学にて
Exchange Program :
Doshisha University



4/5 大学交流：ディスカッション発表・同志社大学にて
Exchange Program :
Presentation at Doshisha University



4/5 大学交流：再会を誓って・同志社大学にて
Exchange Program :
Doshisha University



4/5 ワークショップ・同志社大学にて
Workshop II :
Doshisha University

6-4. 九州地方（Cグループ【テーマ：科学・技術】）

	
<p>4/2 地方自治体施設視察（北九州産業学術推進機構）</p>	<p>4/3 歴史的建造物見学（櫛田神社）</p>
<p>Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry Science and Technology</p>	<p>Kushida Shrine</p>
	
<p>4/3 地方自治体施設視察（大濠公園能楽堂）</p>	<p>4/3 地方自治体施設視察（大濠公園能楽堂）</p>
<p>Ohori Noh Theatre</p>	<p>Ohori Noh Theatre</p>
	
<p>4/3 地方自治体概要講義（福岡県庁）</p>	<p>4/4 大手企業視察（トヨタ九州宮田工場）</p>
<p>Fukuoka Prefectural Government</p>	<p>Toyota Motor Inc. Kyushu Miyata Plant</p>



4/4 地元企業訪問（ネクストシステム）
NEXT Systems



4/4 JA 筑前あさくら：地域の方々との交流
JA Chikuzen Asakura



4/4 ホームビジット：地域の方々との交流
Home Visit



4/5 地方自治体施設視察（おおき循環センター）
Oki Recycling Centre



4/5 大学交流（福岡工業大学）
Fukuoka Institute of Technology



4/5 ワークショップ II
Workshop II

7. 参加者の感想（参加者の感想文の抜粋）

◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、また帰国後伝えていきたいこと

・このプログラムからは多くのことを学びました。美しい桜と日本のすばらしさの他に、私はいかに日本人が自分たちの価値観を大切にしているかを学びました。日本人は他の人を助け、助けるためにできるだけのことをしようとします。同じように、日本人は自分たちの生活・暮らしを本当に大切にしています。多くの発明やイノベーションを生み、それを誇りに思っているように思えました。「ものづくり」主義が日本人の生活の質を高めるのに大いに役立っていることも知りました。日本人は工作中、常に規律正しさをもって一生懸命働きます。政府の政策もすばらしく、政府は国を管理し、市役所も良い管理システムを持っています。環境技術も多く活用されており、そのおかげで日本は清潔できれいです。私たち（ASEAN 諸国の参加者）に、日本を訪問し、「関係」「信頼」「勤勉さ」「ウィンウィンの解決策」の重要性について知識を高め、他者を深く知る機会を与えてくださった日本政府に、本当に感謝しています。私たちはこのプログラムで、何か行動を起こすための見識を得られただけでなく、自国に成功をもたらす社会を築いた日本の英知について、直接話を聞いたり、交流したり、コミュニケーションしたり、見学したりして「真の体験」を得ることができました。

・日本は勤勉な人々の国で、科学技術分野での進歩のために真剣に取り組んでいることを理解できました。例えば、企業は製造プロセスでロボットを活用しながらシステムを実行しています。また廃棄物さえ役立つ製品にリサイクルするという解決法でゴミ削減を達成し、廃棄物ゼロ社会を目指しているという点を理解しました。

・一番印象に残ったのは、他人に対する日本人の接し方です。日本人は誰に対してもとても親切でフレンドリーです。短いホームビジットでは、ホストファミリーに非常によくしていただきました。着物や伝統的な和食など多くを私たちのために用意してくださりました。家庭訪問はたった3時間という短い時間であるにもかかわらず、ファミリーの方々はとても親切で非常に感動しました。日本人は他人に対して笑顔を忘れず、丁寧な挨拶を忘れません。アツタ起業では、日本の雇用者がどのように自社の従業員を待遇しているかについて学びました。雇用者と従業員の信頼関係は、継続的に業務を円滑に進めるために非常に重要です。というのも、日本人は、利益よりも信頼関係、信用関係を築くことに重点を置くからです。過去に不幸な災害が日本を襲いましたが、それでも時間と共に経済は良くなり、完全に回復することができるのです。トヨタ自動車の主要原則からも、人生経験上うまく活かしていけるような多くのことを学びました。

・日本では、行政機関も伝統文化の保存に率先して努めているということを学びました。一例をあげると、奈良市は、藍染文化を保存するために、（継承者がいなくなった）藍染屋を買い取って、文化を継承しています。また、奈良町の町家も市の支援により保存されて

います。更に、市の支援による文化保存には、税金が使われているということに、私は感銘を受けました。フィリピンでは、税金を使って文化を保存することはできません。なぜなら、市民の食卓を潤すような儲かる産業以外に税金を使うと、市民の反感を買うからです。帰国後、私が住んでいる市の自治体も奈良市のように文化保存に取り組んでくれるよう促していきたいと思います。そして、伝統文化を保存することの重要性を見出して欲しいと思います。

・日本滞在で一番印象的なことは、新しい技術を生み出しながら、且つ、伝統文化を保存しているということです。伝統文化と現代性が見事な融合は、奈良市や市民の生活様式に顕れています。この開発の進んだ現代的な都市生活の中で、伝統文化がどのように継承されているのかということを目の当たりにしました。また、現代建築が伝統的な建築や建造物、そして、遺物と上手に共存していることを見ることができました。帰国後、奈良市民の生活様式や奈良市のインフラ構造において見聞したことを共有していきたいと思います。共有することにより、母国の文化保存が一層促され、伝統を受け継いでいくことができると思います。伝統文化を保存・継承していくことで、若い世代、地域、そして世界の人々が、文化交流を通じて、各国特有の伝統と文化に触れることができます。そして、伝統と文化は、私たちの生活の中に、絶えることなく存在していなければならないと思います。

・私は路上で歩いている人に道を尋ねました。でも彼女も知らないという事でしたので、ホテルへ戻ることにしました。すると私が帰る途中で道に迷うといけなからと、彼女はタクシーと停め、支払いまでして私を乗せてくれました。それで無事ホテルへ戻ることができました。何と優しい方でしょう。お礼を言いたいのですが、どこのだなたかも分かりません。もしこれを読んでおられるなら、心の底から有難うと言わせて下さい。またぜひお目にかかりたいです。